

創立10周年を迎えて

財団法人 太平洋人材交流センター 会長

神田 延祐

Nobusuke KANDA
Chairman,
Pacific Resource Exchange Center

財団法人 太平洋人材交流センター(PREX; Pacific Resource Exchange Center)は、2000年4月で創立10周年を迎えました。財界並びに京阪神6地方自治団体からのご寄付を仰いで設立された当財団の目的は、アジア・太平洋地域を主とする開発途上国の発展を促進するための国際協力の推進であります。このため、当財団はこれら地域の人材育成を支援する活動に力を注いで参りました。

この10年間に日本を取り巻く環境は大きく変化しました。とくに当財団の仕事とも関係の深いアジア諸国が、1997年以降急速に経済的難局を迎えたこと、また日本経済がバブル崩壊以降長らく低迷をつづけ、最近の数年間では特に金融問題の処理に苦しんだこと等から、当財団の運営にも大きな影響を免れませんでした。

こうした厳しい環境にも拘わらず、私共はほぼ所定の事業を行うことができました。これも偏に関係各方面の暖かいご理解とご支援によるものと深謝致しております。お蔭様で最近では、受入研修、海外研修合わせて年間の講座数は20数回、受講者数も千人近くに及んでいます。また時代の要請に応じて、アジア・太平洋地域以外の、例えば旧ソ連諸国やアフリカ諸国からの要請にも、事情の許す限り対応しております。

過去10年の経験の中で、私共は数多くのことを勉強させて頂きました。特に数年前の経済危機に際し、マレーシアはこうい時こそ人材育成が必要であるとして、普段の倍以上の受講者を送ってこられました。人材育成にかけるその真剣さと期待の大きさに深い感銘を覚えました。そして改めて人材育成事業の奥行きを痛感しています。研修卒業生の数も増えて、各地でのPREX同窓会の組織化も進んで参り、海外研修の実施にあたって同窓生からの支援を頂く例も増加してきました。また時代に先駆けて最新の情報機器、システムを活用した遠隔研修の実施にも先鞭を付けて参りました。この道の改善には限りがありません。

昔から「人を養うは百年の計」と申します。私共が得た10年ばかりの経験は、この大事業についての序の口の教訓に過ぎないものと思います。今後とも役職員一同、自己研鑽に努めながら、この重要な仕事に携わる自覚と誇りを持って、事業の遂行に邁進していく所存であります。

引き続き格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 太平洋人材交流センター設立10周年に寄せて

外務大臣

河野洋平

Yohei KONO
Foreign Minister,
Ministry of Foreign Affairs

財団法人 太平洋人材交流センターが、設立10周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、常日頃より、業務に取り組まれている関係者各位の真摯な御努力に深く敬意を表する次第です。

平成2年、外務省及び通商産業省共管による財団法人として設立されて以来、経営管理分野をはじめとする研修プログラムの実施及びセミナーの開催、プロジェクト方式技術協力「インドネシア貿易セクター人材育成計画」への参画、東欧・中央アジアを対象とする事業の実施等を通じて、アジア・太平洋地域を主とする開発途上国との交流を深めるため、人の国際交流事業を積極的に推進されてきております。

現在、我が国のみならず世界的規模において、IT革命の下、国境を越えた社会の情報ネットワーク化が進展し、衛星回線やインターネットを活用した新しい情報伝達システムが整備されつつあります。この中、昨年、太平洋人材交流センターは、複数の会場を双方向情報伝達システムにより結びつけたマルチポイント型遠隔研修を実施されております。開発途上国のニーズに適切に対応していくため、情報ネットワークの活用等により、新しい国際協力事業の方法を提案していくことは、まさに現在の情報進行の動向に真に沿ったものであると考えます。関西の産・官・学が一体となって設立されて以来、これまで関西を中心とされた太平洋人材交流センターの活動は、今後、こうした情報ネットワークの活用により関西を拠点として、アジア・大洋州地域を中心とした開発途上国の各地へと活躍の場を一層広げられていくことと思います。

この機会において、改めて財団法人太平洋人材交流センターが、人材育成を通じた開発途上国の経済発展と我が国との交流を深められ、今後とも、その設立目的の下に活動を進められ、技術の移転にとどまらず、日本と開発途上国との相互理解の架橋となられるよう期待するとともに、今後の更なる御発展を心より祈念いたします。

財団法人 太平洋人材交流センター創立10周年に寄せて

通商産業大臣

深谷隆司

Takashi FUKAYA
Minister of International Trade and Industry,
Ministry of International Trade and Industry



財団法人 太平洋人材交流センターの創立10周年に当たりお祝いを申し上げます。

貴財団は、関西の経済界の呼び掛けにより、今日その重要性が注目されている人材育成の重要性に早くから注目し、平成2年4月の設立以来、アジアを中心に5,001人に上る研修生の受入れを行い、人材の育成に多大なる貢献をしてこられました。関係者各位の真摯な御努力に深く敬意を表する次第です。

通貨危機によるダメージを克服しつつあるアセアン諸国を始め、開発途上国においては、技術協力の要請は量的に増加するだけでなく、その内容は裾野産業の育成、市場経済化に対する支援、中長期的発展基盤の整備などのように、多様化・高度化してきております。こうしたニーズに対応し、開発途上国の構造改革に向けた技術協力を行っていくことは、相手国の発展に資するものであり、その重要性はますます高まっております。

その中でも、人材育成は技術協力の特に重要な柱の一つでもあり、貴財団の行っている人材育成・交流事業は時宜を得た誠に意義深いものであります。

また、今後、人材育成の分野においても、発達の著しい通信技術を用いた遠隔研修の導入が注目されているところでありますが、貴財団におかれましても、こうした新たな取組を積極的に推進されていると聞いております。こうした新たな取組を含め、人材育成の分野における貴財団の今後の更なる活躍を期待します。

通商産業省といたしましても、引き続きアジアを始めとする開発途上国における人材育成協力を積極的に取り組み、官民一体となった人材育成支援の充実・強化に努めてまいり所存であります。

最後に、貴財団のますますの御発展を祈念いたしまして私のお祝いの言葉といたします。

在贵中心成立十周年之际，我谨代表全体学员表示祝贺！

劉久貴氏
中華人民共和国科学技術部 所長
北京市

刘久贵



貴財団が設立10周年を迎えられるにあたり、研修員を代表しお祝い申し上げます。10年間PREXの職員の皆様は、職場を愛し仕事を大切にされてきました。その姿勢に、研修を受けた私達も感化されました。また、研修で学んだ先進的なマネジメントの知識に啓発され、中国の企業管理の現代化を進めていくことが出来ました。

От души поздравляю Вас с Десятилетием деятельности!

セルゲイ・ブルスキン氏
(ロバートソン&ブラムスコーポレーション プロジェクト主任マネージャ -)
モスクワ市

Сергей



貴財団がこれからも長く積極的な活動を続けられますこと、そして財団の皆様方のご健勝とご発展、創造的ご成功をお祈り申し上げます。

Congratulations To PREX On Its 10th Anniversary

ウィリアム・オン氏 (リンデン工業株式会社 社長)
Mr. William S. K. Ong, Managing Director, Linden Industries Ltd.
PREXシンガポール同窓会
PREX Alumni of Singapore

William



The work of PREX has been uniquely spectacular and contributes socially and economically on a global scale. In creating opportunities and encouraging shared learning, PREX has earned the respect of leaders all over the world and has become a shiny example of a good global citizen.

Thank you, PREX, for what it has done for us, Vietnamese participants.

ファン・バン・フォー氏 (経済運営研究所 所長)
Dr. Pham Van Pho, Director, Center Institute for Economic Management
PREXベトナム同窓会
PREX Alumni Vietnam

Pham



We highly appreciate PREX for their effective activities and contributions, by which PREX has contributed to the cause of development and strengthening of friendship and mutual understanding between our countries.

Dirgahayu PREX 10tahun Semoga tetap Berkembang dan sukses selalu.



クスナエニ氏 (インドネシア 日本起業家協会 事務局長)
Drs. Kusnaeni, Executive Secretary, Indonesia-Japan Entrepreneurs Association
PREXインドネシア同窓会
PREX Alumni Indonesia

Congratulations to PREX hoping for it's further developments and success.
On this occasion of celebrating the 10th anniversary of PREX, allow me,
also on behalf of PREX Alumni Indonesia members, to convey our heartfelt congratulations.

A Tribute to the First Decade of the PREX Organization



ポーンセーク・カーンチャナチャリ氏 (ナショナル タイ社 会長)
Mr. Phornsake Karnchanachari, Chairman of the Board, National Thai Co., Ltd.
PREXタイ同窓会
PREX Alumni Club of Thailand 略称"PACT"

During the ten years since its establishment, PREX has played a significant
and multi-dimensional role in human development and exchange.

TANIAH kepada PREX sempena dengan Ulangtahun Ke-10!



スティーブン・リョン氏 (マレーシア戦略国際問題研究所 日本研究センター所長)
Dr. Stephen Leong Mun Yoon, Executive Director, Institute of Strategic & International Studies
PREXマレーシア同窓会
PREX Alumni Malaysia

Heartest Congratulations to PREX on this occasion of its 10th Anniversary!
In just one decade of the last century, PREX has indeed achieved much.

Mabuhay Ang PREX! Binabati Ko Ang PREX Sa Kanyang Ika Sampung Anibersaryo



ハーマン・ガンボア氏 (データ・センター・デザイン社 会長)
Mr. Herman T. Gamboa, Chairman, Data Center Design Corporation
PREXフィリピン同窓会
PREX Alumni Philippines Inc. 略称"PAPI"

On this occasion of your 10th Anniversary, I would like to extend my sincere Congratulations for the excellent work
you have accomplished all these years toward establishing closer relations in the Pacific Rim through continuing training
and exchange of information, which has enhanced delivery in communication. I am certain your achievements will grow
to greater heights of success in the years to come.

21世紀のPREX

財団法人 太平洋人材交流センター 理事長
ダイキン工業株式会社 特別顧問

井上義國

Yoshikuni INOUE
President, Pacific Resource Exchange Center
Senior Advisor, Daikin Industries, Ltd.



PREXが10周年を迎えました。この間、活動内容が年を経るごとに充実してきたとすれば、それはひとえに関西の民間企業のご支援の賜物であります。多額の基金をご寄付いただいたばかりか、10年もの間、多数の優秀な人材を「手弁当」で出向させていただくなど、全面的にご支援いただいたことに心からお礼申し上げます。

最近の出来事の中で印象的なことは、1997年のアジア経済危機の時でさえ、タイ、インドネシアなどからPREXの協力を強い要望が寄せられたことです。途上国の人材育成への熱意に感銘を受けました。中国・重慶市から旅費、滞在費を自己負担の条件でPREXに研修依頼があり、中堅幹部の日本への受入研修を、ここ3年間実施してきたこともあげられます。PREXが国際的に高く評価されたことに感動しました。

PREXの活動範囲はアジア・太平洋地域のみならず東欧、旧ソ連邦やアフリカ諸国の市場経済化を進めるための幹部研修へと拡大しました。また、研修の効率化を狙い、情報通信技術（IT）を駆使した遠隔研修システムの開発にも挑戦しました。

1998年、社団法人 関西経済連合会と共同でテレビ会議システムによる大阪 - マニラ間の遠隔研修を行い、1999年には財団法人 海外技術者研修協会（AOTS）のご協力も得て、大阪 - バンコク - ジャカルタを結ぶマルチポイント研修を、2000年には衛星放送を使った大阪 - クアラルンプール間の研修を実施しました。将来、インターネットを使った遠隔研修も行う計画です。

21世紀の企業経営のキーワードは「グローバル化」と「IT革命」です。ITの発達に伴い管理階層は圧縮され、中堅マネージャーの役割が変わります。しかし中堅マネージャーが不要になるわけではありません。これからの企業経営に不可欠なのはスピーディな意思決定と実践です。そのために、トップと経営理念を共有し、日常的に起こる変化にスピーディに対応できる中堅マネージャーの存在はますます重要となります。

PREXの特色は中堅マネージャー育成に重点を置いた研修活動にあります。21世紀にふさわしい中堅マネージャーはいかにあるべきか、今後もアジア・太平洋地域の人々との交流を深めつつ、新しい研修内容と研修システムの開発に努力し続ける所存であります。このことが21世紀のアジア・太平洋地域の発展にとって、PREXがなくてはならない存在に成長する道であると考えております。

国際協力事業団（JICA）、AOTSをはじめ、関係する諸団体、民間企業、学界、地方自治体からの変らぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

これからのアジアと人材育成について

財団法人 太平洋人材交流センター 副理事長
東洋紡績株式会社 会長

柴田 稔

Minoru SHIBATA
Vice President, Pacific Resource Exchange Center
Chairman, Board of Directors, Toyobo Co., Ltd.



東南アジアの最近10年余りの経済発展は目を見張るものがある。1997年の通貨危機の後、暫時の停滞があったとはいえ、これをIMFの援助もあって見事克服し、再び隆昌を取り戻し、21世紀へ向けて、世界の製造業の拠点としての展望を開きつつあると考えられる。

世の中は、IT技術の飛躍的な発展によって情報の同時化、地理的距離の短縮化が進み、まさにグローバル化時代、適地生産、適地販売のネットワーク型産業時代が到来している。

我が国でも労務費の高騰など高コスト体質を避けるため、労働集約的産業をはじめとして、多くの企業が東南アジアに生産拠点を移している。私どもの繊維産業にあっても、国内生産の規模に匹敵するほどにまで、急速にアジアでの生産を伸ばしている。

当初は比較的低級な量産品でのコスト競争力主体であったが、中国を含むアジア諸国間の競争が激化し、また、品質の向上に伴って、海外生産も高級品への移行が進みつつある。メガコンペティションに勝ち抜いていくためには、一にも二にも技術力の向上が必要になってこよう。

当社も多くの海外拠点を持っているが、毎年10～20人の技術者、技能者を日本に呼んで1年間技術研修を行い、彼らを中心にして海外工場の運営を行うようになってきている。さらに、日本人の指導グループが海外工場を巡回し、現場指導を行うことによって、技術の高度化、工場管理の向上を期している。

何れも各国での人材育成の重要さが痛感される。各企業が独自に工夫を凝らし、人材育成に努めるのは当然であるが、基本的な人材育成の仕組み作りや官を巻き込んだシステム作りなど、もう少し横断的な役割や、あるいは経営管理を含んだ高度の教育については、PREXの活躍が大いに期待される。

とくに発展途上国にあっては、自分が身につけた技術は他人、部下に教えず、個人有として自らのステータスを高く保ちたいという様子があるように感じられる。こういった事を脱却して、工場全体のレベルアップを図るためには、ベースとなる人事管理、給与制度を含めた管理手法の改善が必要であり、PREXとしては、マネジメント層を育成し、その意識改革に向けて一層努力する必要があるのではないかと。

こうした点について、情報通信の発達した今日、双方向通信に使い、また、適切なマニュアルを作成するなど、効率よく教育することができると考えられる。関西とアジアを結ぶ架橋として、PREXが10周年を期にますます発展を遂げることを期待している。